



発行日：平成29年7月1日
 発行者：市原市更級5丁目1-51
 市原市立中央図書館
よくよむ
 TEL 0436 (23) 4946
<http://www.library.ichihara.chiba.jp>

平成29年
3月
策定

市原市学びのまち 図書館サービス計画 及び

市原市未来を拓く^{ひら}子どもの読書活動推進計画



現在の社会情勢に応える図書館サービスを実現させるために「市原市学びのまち 図書館サービス計画」を策定しました。併せて、人生をより深く生きる力を身につけていく上で、欠くことのできない子どもの読書活動を推進していくため、「市原市未来を拓く子どもの読書活動推進計画」を策定しました。

市原市学びのまち 図書館サービス計画

【計画の対象】市民

【計画期間】平成29年度から平成38年度を目標年次とする10年間

【基本理念】「未来を創造する学びの図書館」～子どもから大人までの、生涯学習と課題解決の拠点となり、明るい未来を創造する人があふれていくことを目指します～

《基本目標》

1. 知の情報拠点として市民が活用できる図書館
2. 人・本・情報の橋渡しをする図書館
3. 豊かな心を育む図書館～学校や関係機関との連携を深める～
4. みんなにやさしい図書館

レファレンスサービスの充実や図書館の認知度の向上と広報の強化、学校や関係機関との協力・連携体制の強化、利用者の立場に立ったサービスの展開を図っていきます。

主な指標

数値
上段 平成27年度
下段 平成38年度

【年間のレファレンス
件数】

3,842 件
↓
4,600 件

【市民一人当たりの
年間貸出点数】

5.6 点
↓
6.2 点

【年間の入館者数】

462,083 人
↓
472,000 人



市原市未来を拓く 子どもの読書活動推進計画

【計画の対象】市内のおおむね18歳以下のすべての子ども

【計画期間】平成29年度から平成31年度を目標年次とする3年間

【基本理念】「未来を拓く 子どもの読書」～いちはらの子ども一人ひとりが、自ら読書の楽しさ、素晴らしさを発見し、未来を切り拓く力を養い、情緒豊かな子どもに成長することを目指します～

《基本目標》

1. 子どもが読書に親しむ機会の充実と環境整備の推進
2. 子どもの読書活動推進のための連携・協力と活動の支援
3. 子どもの読書活動に関する理解や関心の普及・啓発

子どもの読書活動を推進するための人材育成や活動の支援、中央図書館と小中学校・各読書施設との連携の強化、中高校生世代に向けた読書習慣の醸成を図ります。



主な指標

数値
上段 平成27年度
下段 平成31年度

【保護者やボランティアの
協力体制づくりを行っている
中学校の割合】

27.2% (6校)
↓
38.1% (8校)

【中央図書館と各読書施設と
の連携による子どもの読書週
間事業の参加者数】

2,009 人
↓
2,200 人

【子どもの図書貸出
冊数】

300,430 冊
↓
309,600 冊

※詳しくは、市原市立中央図書館ウェブページをご覧ください。 <http://www.library.ichihara.chiba.jp/>

夏の図書館 利用術



図書館の閲覧席を利用したい

7月22日(土)から8月30日(水)の個人閲覧席(No. 31～47)については以下の方法にて先着順でのご利用(事前予約不可)となります。

なお、6人掛けテーブル席は申込不要でご利用いただけます。

○開館前の受付は、午前9時15分から正面入り口前で行います。

○開館後は、中央カウンターで受付します。

○受付時にお渡しする「座席カード」の番号の席をご利用ください。

※公民館等の閲覧席・学習室の利用方法については、各施設へ直接お問い合わせください。



読書感想文【全国】【千葉県】コンクールの課題図書の出借・予約について

課題図書のコーナーを設置しています。

なお、課題図書は夏休み期間に利用が集中するため、以下のとおりとさせていただきます。

○貸出・予約 1枚のカードで2冊まで

○貸出期間 2週間(延長不可)

読書感想文が苦手、書き方は?そんなお悩みの方は、書き方の本も図書館にありますので、併せてご利用ください!!

【場所】小学生課題図書: 1階 児童室

中高生課題図書: 1階

中央カウンター前



自由研究どうしたらいい?

初めての自由研究!? 毎年悩む自由研究……。7月1日(土)～8月30日(水)まで「自由研究のネタあります!!」のコーナーで皆さんをお待ちしています♪

探しているテーマに合う本が見つからない時はスタッフがお手伝いしますので、気軽に声をかけてください。

【場所】1階 児童室



夏休み映画会

☆子ども向け映画会

各日午前11時～、午後2時～の2回上映

7月23日(日)「ダンボ」60分

7月29日(土)「ピノキオ」12分

「14ひきのピクニック」28分

8月5日(土)「ぞくぞく村のオバケたち」52分

8月27日(日)「ふしぎの国のアリス」60分

☆大人のための映画会

各日午前10時～、午後2時～の2回上映

7月26日(水)「富士ファミリー」87分

8月25日(金)「紅白が生まれた日」72分

【場所】2階 視聴覚ホール

【受付】各日上映開始30分前より会場前にて

【定員】50名

おはなし会

絵本や紙芝居をいっしょに楽しみましょう!

7月5日(水)、19日(水) 午後3時～

8月2日(水)、16日(水) 午後3時～

【場所】2階 集会室

【集合】午後3時までに1階児童室へ

*毎月第1・第3水曜日に開催しています。

本との出会い

『なんにもできなかったとり』（著者：刀根里衣/NHK 出版）。

以前、中央図書館の文学講座の講師としても、講演を行っていただいた“中江有里”さんが、先日、テレビでこの本を紹介していました。あたたかいオレンジ系の色の表紙にかわいい鳥の絵。やさしくかわいい声で、少し朗読してくれました。タイトルの通り、みんなはいろんなことができるのに、「なんで自分はなんにもできないんだろう…。」と、悩み続ける鳥が主人公です。あれも、これも、できない、できない…。そんな主人公の鳥ですが、最後に…。全編、とてもきれいな色づかいの絵で、最後にちょっぴりせつなくもあたたかい気持ちになる本です。



「ぜひ、読んでみたいな」そして、「あれ、なんだか、記憶にあるようなストーリーではないかしら。」と、本の紹介を聞きながら、そんなことを思いました。そんな記憶を辿ってみて、つながった本は、『かたあしだちようのエルフ』（文と絵：おのきがく/ポプラ社）。色づかいと話の進み方は『なんにもできなかったとり』とは、ちょっと違いますが、最後にたどり着いた鳥の気持ちは同じなのではないかと思いました。

『かたあしだちようのエルフ』は45年以上前、1970年に出版された本です。今でも、読み継がれていて、図書館には必ずある本のひとつです。

いろいろな本があるのに、なぜだかわからないのですが、子供のころからずっと記憶に残っている絵本です。いつ、どこで、どのように知ったのか、読んだのか、記憶にないのですが、ストーリーだけは、とても強く心に残っています。せつなく、哀しい本なのですが、忘れられない1冊です。

みなさんも、心に残る忘れられない本、ふとしたきっかけで出会い読んでみたいと思っている本、気が付いたら忘れられなくなっている本などありませんか。図書館にはいろいろな本がたくさんあります。図書館で探してみたいかがでしょうか。思い出の本との出会いはもちろん、新たな本との出会いがあるかもしれません。

さて、私は、ふと出会った、『なんにもできなかったとり』とともに、久しぶりにじっくりと『かたあしだちようのエルフ』を読んでみたいと思います。（記：Y R）

工業教育の父

ふるさと市原に輝く人物コーナー

てじま せいいち
『手島 精一 展』開催中！

■展示期間

平成29年6月1日（木）
－ 7月27日（木）

開館時間中、閲覧自由

*2階は水・金曜日は午後5時まで

■開催場所

- 1階 郷土・行政資料展示コーナー
「ふるさと市原に輝く人物コーナー」
- 2階 展示ケース（東京工業大学と手島精一）

1850年1月11日（嘉永2年11月28日*旧暦）
－ 1918年（大正7年）1月21日）

工業教育の父と呼ばれ、教育博物館（現在の国立科学博物館）館長、東京職工学校（現在の東京工業大学）校長を歴任した元菊間藩士。

ふるさと市原を知る本

『神道大系 神社編 18
安房・上総・下総・常陸国』
精興社



『神道大系』は、日本古来の宗教「神道」に関する史料などを、昭和52年から30年の歳月をついやして集大成した120巻におよぶ大著です。この中の神社編18に、市原に古くから伝わる神社の由来などを記した「縁起」などが収録されています。「^{かみつあさ ふさ そうじやいいが おかはちまんぐうゆいしよほんぎ}上麻（総）惣社飯香岡八幡宮由緒本記」「^{かすさこくいちほらぐん し どうのしよはちまんぐうおんえんぎ かすさくに}上総國市原郡市東 庄八幡宮御縁起」「^{じんじやし いいが おかはちまんぐうごでんき}上総國神社誌」などで、中でも「飯香岡八幡宮御傳記」には、かつて八幡宿の飯香岡八幡宮の前に広がっていた遠浅の浜のどこ辺りまでが神社の土地であったのかを示す天正年間の絵図面などが載せられていて、大変興味深い史料となっています。

読書ボランティア募集

図書館の各種事業に協力していただけるボランティアの方を募集しています。

- 1. 申込要件** 市内に在住、在勤又は在学の方で、読書活動の推進に関する知識・技能・経験を持つ、又は、講習等を受けることにより、知識、技能を修得でき、意欲的に活動できる方。
- 2. 活動内容** ブックスタート、図書修理、おはなし会等の中央図書館が主催する事業への参加。年数回の講習等があり、各事業に関する講習受講後から、参加していただきます。
- 3. 募集期間** 随時受け付けています。
- 4. 申込方法** 申請書に必要事項を記入の上、直接持参、郵送、ファクシミリのいずれかでお申し込みください。（申請書は中央図書館、各公民館・コミュニティセンターに設置しているほか、図書館ウェブサイトでもダウンロードできます。）



ブックスタート読み聞かせボランティア

4/29 記念展示架の除幕式を行いました。

記念展示架は、2015年に逝去された農民作家遠山あき氏の、市原市特別市民栄誉賞受賞を記念して、次女の遠山宣子氏から中央図書館に寄贈されました。

記念展示架では、市原の再発見・再認識に通じるような資料展示による情報発信の場所とすることで、遠山あき氏のこれまでの業績を顕彰したいと考えています。



↑左から前田教育長、
遠山宣子氏、小出市長
鈴木生涯学習部部長

第1回展示「小湊鐵道創立100年～レールは人生を乗せて～」



《いちはらっ子読書フェスタ 2017》

♪ 小さな本の大きなせかい ♪



おたのしみ袋



おはなし会

今年も大勢の子どもたちが参加しました。



ぬいぐるみおとまり会



図書館DEビンゴ

スタンプラリー

映画会

特別講演会「小湊鐵道のあゆみ」

平成 29 年 5 月 20 日（土）開催

小湊鐵道は、今年で創立 100 周年を迎えました。石川晋平社長に、これまで小湊鐵道の歩んだ道のり、そしてこれからのビジョンを語っていただきました。



ふるさと市原に輝く人物コーナー 創作民話作家

「酒井登志生展」特別企画上映会

平成 29 年 5 月 21 日（日）開催

2015 年逝去された、酒井登志生さんの貴重な映像の上映会を開催しました。語られた「いちはらの民話」は郷土の財産であり、大切に引き継いでいきます。

《中央図書館利用案内》



★開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時
※水・金曜日は 1 階第 1 フロア・第 2 フロアのみ午後 7 時まで。水・金曜日が祝日と重なる場合は、午後 5 時まで
★貸出冊数・貸出期間
図書・雑誌 10 冊まで
視聴覚資料 2 点までいずれも 2 週間

★休館日 毎週月曜日
毎月平日最終日（月末図書整理日）
特別整理期間（蔵書点検等）
年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）
★初めてカードを作るには
住所氏名の確認できるもの（運転免許証等）をお持ちください。